2018　11/9

慶應義塾　塾長

長谷山　彰　様

拝啓

秋冷の候、塾長におかれましては、日本のいろいろな面での厳しい状態の中、

慶應義塾の将来に向けてのご健闘に衷心より敬意と感謝を捧げたく存じます。

早速ではございますが、塾長のご講演をお願いいたしたく、ここに慶応義塾大学国際関係会（IIR）　　OB・OG会からお伺い申し上げます。

慶応義塾大学国際関係会（IIR）の立ち上げは、スタンフォード大学の学生が、福澤諭吉に感銘し、　　　慶應の学生と交流したいとの申し入れを1953年に送付し、当時の塾監局外事部におられた　　　清岡瑛一　教授がこの申し入れを取り上げられたことから始まりました。学生が主体の交換留学制度との申し出でありましたので、国際関係委員会を学生が作り留学制度の実施に1955年に　　あたりました。　　1955年と云えば、留学の重要性、プログラムや機会が日本では稀であった　　時代であったように存じます。

以来63年間いろいろな形で交換留学を学生の手で行っております。

近年には、20ヶ国の大学と交換関係を持ち、平均年間約70名から80名の外国人留学生が来日し、　　慶應義塾の紹介、企業訪問、時のテーマ例えばノーベル受賞者の研究室訪問そして観光という内容の　プログラムを、ホームステイをベースに、経験しています。　同時に日本からも70-80名ほどの学生が海外体験のための短期留学をしております。近年は留学期間が短くは　　　なっておりますが、交換留学を　経験された方々は、財界、教育界、企業などで活躍されておられます。　　現在、毎年約200人の新入部員を迎え、活動を続けております。

この度は、このIIR　OB・OG会の総会にて塾長のご講演を賜りたくお願い申し上げる次第で　　ございます。　塾長から直接にお話しを戴きますことは、OB・OG会のメンバーはもとより、　　　学生にとり非常に貴重であり、又大きな励ましとなります。

IIR OB・OG会の総会は、2019年6月15日（土）（午後）を中心に企画しておりますが、

塾長のお忙しいスケジュールを考えまして、6月下旬の日取りで調整させて

頂きたく存じます。ご快諾のお返事をお待ち申し上げております。

塾長の益々のご活躍とご成功をOB・OG会一同ご祈念いたします。

敬具

慶応義塾大学国際関係会（IIR）OB・OG会

名誉会長　伊勢　桃代

会長　　　安倍　宏行

幹事長　　岩田　紘行

学生　代表　山口　開、　渉外局長　吉武　信